

講座名	緑を楽しむ講座千葉 「大都会の多彩な街路樹を楽しむ」		
開催日時	2022年10月6日(木) 10:00~13:30		
開催場所	有楽町・丸の内・大手町・皇居二の丸	一般参加者	24名

活動概要

生憎の冷たい雨模様でしたが受講者にとっても馴染みの場所であったようで24名の参加を得ることが出来ました。歩いたコースは大丸有、大手町の森、皇居二の丸雑木林の三か所。

・大丸有(大手町、丸の内、有楽町)仲通りはケヤキ、カツラ、シナノキ、シラカシ、クスノキ、イチョウ、クロガネモチなど由来種からユリノキ、台湾ソフウ、モミジバフウ、トウカエデ、シマトネリコなど外来種など12種の落葉樹・常緑樹などの街路樹が配され夏は木陰を作り、冬は日差しが入るよう、人が快適に過ごせる環境を作り出しています。また、歴史的建造物も多数あり調和のとれた居心地の良い街並みとなっています。ただ街路樹の樹種に一貫性が無いので何故そうなったのか考えながら観察して歩きました。

・大手町タワーの「大手町の森」に入ると、枯れ木も残し活かされている、林床もシダ類そして草本も豊かで、直径、樹高も様々な樹木、また実生もたくさん見られ野鳥や昆虫など生物多様性に富んだ大都会の中のまさに森が出現します。

・最後は昭和天皇のご発意で武蔵野の雑木林をイメージして造られた皇居「二の丸雑木林」を見学し終了しました。最後に三か所の違いと共通点を振り返りそれぞれの特徴を比較しながら皆さんにとってどこが一番心地よく感じたか、なぜそうなのかを気づく講座としました。

悪天候の中にあっても受講者は大いに楽しみ満足の声が聞かれた講座となりました。

(大手町の森については毎月植生調査をされている当会の広畠様に多大なるご協力を得ました)



シナノキの並木にオオバボダイジュ?、ビルの中に庭園が



ビルの中に突然森が現れる



大手町の森にエスカレーター



皇居二の丸雑木林



シモバシラの花

F I C 講師 上江洲三男